

無線LAN設定バーコード印刷ツール ご利用ガイド

カシオ計算機株式会社
システム営業統轄部

2018年7月4日

1.概要

1.概要

1.1. 目的

本ツールは、カシオ計算機製の携帯端末の各種設定と、バーコードを印刷するツールためのツールです。

印刷したバーコードは、携帯端末用のアプリケーション「バーコード設定ツール」で読み込みます。

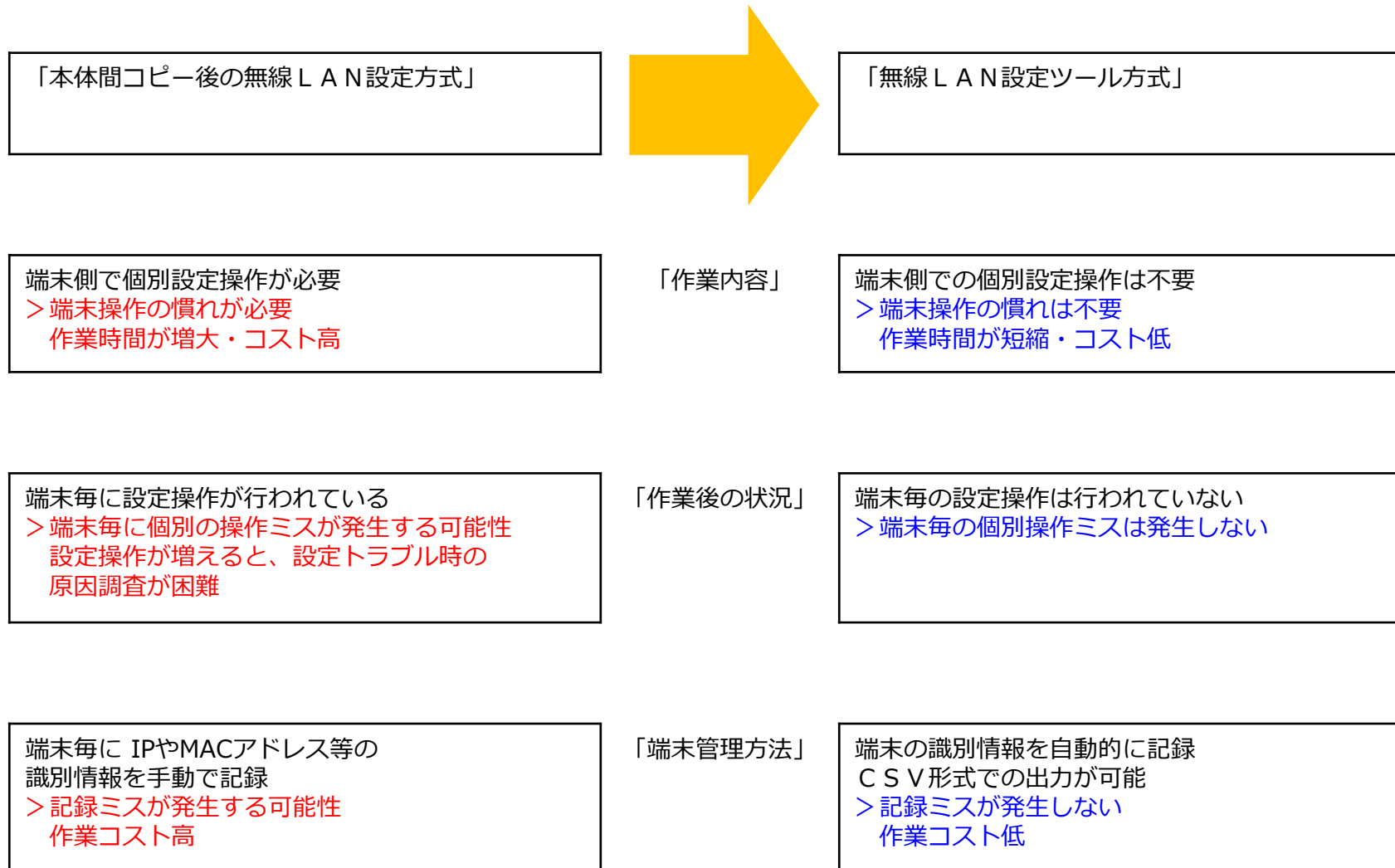
「バーコード設定ツール」では、無線LANなどの通信関係を中心に、以下のような端末設定を行うことができます。

- ・コントロールパネルの「所有者情報」で設定する内容（名前部分のみ）
- ・コントロールパネルの「無線LAN設定」で設定する内容
- ・モジュール更新ツール接続設定

本ツールおよび「バーコード設定ツール」を利用することで、端末の開梱→ネットワークの設定→モジュール更新までを簡単に設定／実行することが可能となります。

1.概要

1.2. 従来型設定との比較



1.概要

1.3. 機能の構成

本ツールで提供する機能の一覧を以下に記します。

番号	機能	概要説明
1	端末設定データ構築	各端末の設定を行います。
2	端末設定バーコード印刷	1.で設定した内容を端末側の「バーコード設定ツール」で読み込み可能なバーコードに印刷します。

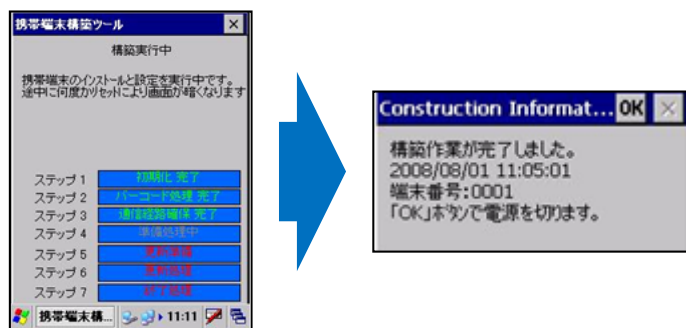
※端末側は、無線LAN設定ツールで、本ツールから印刷した設定バーコードを読み込みます。

1次元バーコードの場合、読み込み順序は、順不同です。

※MMU(モジュール更新ツール)の接続設定が、本ツールで可能です。

設定されている場合、無線設定後に自動的にモジュール更新を行います。

※端末側は設定完了後、電源が自動的にOFFになります。



1.概要

1.4. 動作環境

本ツールの動作環境について以下に記します。

- ハードウェア要件：
IBM/PC AT互換PC
- OS要件：
Windows 7 Professional SP1(32/64bit), Windows 8.1 Pro(32/64bit),
Windows 10 Pro(32/64bit)
- プリンタ要件：
用紙サイズ A4縦に対応している
バーコード印刷に適している
- 対応ロケール：
日本語※
- 必須ソフトウェア：
.Net Framework 3.5以上

対応端末は、
DT-5300/DT-X7/DT-X8/IT-300/
DT-X100/DT-X200/IT-G500/
IT-9000です。

※英語版は無線バーコード設定ツール 英語版にて対応しています。

2.機能詳細

2.機能詳細

2.1. 起動引数

本ツールは、起動引数を設定し呼び出すことが可能です。
以下に起動引数を示します。

WlanBarcodePrinter.exe [定義ファイル].xml

[説明]

定義ファイルを読み込んで起動します。

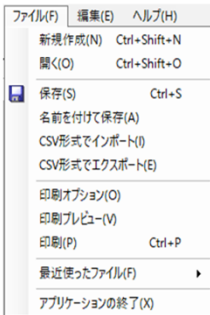
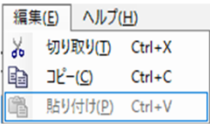
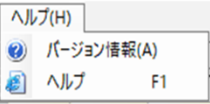
定義ファイルを指定せずに起動した場合は、定義ファイルなしの状態ですべて起動します。

この場合、編集ファイル保存時にファイル名確認ダイアログを表示します。

2.機能詳細

2.2. メインメニュー

本ツールのメインメニューの一覧を以下に示します。

項目	ショートカット	機能説明
ファイル(F) 	新規作成(N)	Ctrl+Shift+N 設定ファイルを新規に作成します。
	開く(O)	Ctrl+Shift+O 既存の定義ファイルを開きます。
	保存(S)	Ctrl+S 現在編集している定義ファイルを保存します。
	名前を付けて保存(A)	現在編集している定義ファイルを別のファイルに保存します。以後、新たに保存したファイルを編集対象とします。
	CSV形式でインポート(I)	設定内容全てをカンマ区切りのCSV形式のファイルから入力します。CSVファイルが正常にインポートできた場合、現在の編集内容はクリアされます。
	CSV形式でエクスポート(E)	設定内容全てをカンマ区切りのCSV形式でファイルに出力します。この場合、編集対象ファイルの変更は行いません。
	印刷オプション(O)	印刷オプションを設定するためのダイアログを表示します。印刷オプションでは、「端末設定内容」の印刷をON/OFFしたり、「2次元バーコード」での印刷をON/OFFすることができます。 ※印刷オプションの各設定は、「出力方式」設定で「3.0/4.0/IT-G500/DT-X100/DT-X200」が選択されていた場合に限り反映されます。それ以外の出力形式を選ばれていた場合は設定は反映されません。
	印刷プレビュー(V)	印刷プレビュー画面を表示します。印刷にチェックが入っている行が存在しない場合、何も動作しません。入力内容に不備がある場合、印刷プレビュー画面を表示せずに、エラーメッセージを表示します。
	印刷(P)	Ctrl+P 通常使うプリンタに印刷を行います。印刷にチェックが入っている行が存在しない場合、何も動作しません。入力内容に不備がある場合、印刷を行わずに、エラーメッセージを表示します。
	最近使ったファイル(J)	過去編集した最大5つの無線LAN設定ファイルを選択／読み込みます。編集日時の近いものから順に表示します。
編集(E) 	アプリケーションの終了(X)	本ツールを終了します。編集対象ファイルが未保存の場合、保存確認ダイアログを開きます。
	切り取り(T)	Ctrl+X 選択した項目(セル)の値をクリップボードにコピー後、当該項目(セル)は初期化されます。
	コピー(C)	Ctrl+C 選択した項目(セル)の値をクリップボードにコピーします。
ヘルプ(H) 	貼り付け(P)	Ctrl+V 選択した項目(セル)に切り取りもしくはコピーされた値を貼り付けます。
	バージョン情報(A)	バージョン情報を表示します。
	ヘルプ	F1 HTMLヘルプを表示します。

2.機能詳細

2.3. 設定編集

2.3.1 設定編集画面

	印刷	出力方式	端末名	使用者名	IPアドレス	マスク	ゲートウェイ	DNS1	DNS2	WINS1	WINS2
1	<input type="checkbox"/>	1.00	0001	F1P00B13	129.1.61.29	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.10.190	130.1.31.11
2	<input type="checkbox"/>	1.00	0002	F1P08B14	129.1.61.30	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.10.190	130.1.31.11
3	<input type="checkbox"/>	1.00	0003	F3P08B14	129.1.61.30	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.10.190	130.1.31.11
4	<input type="checkbox"/>	1.00	0004	F1P16B15	129.1.61.31	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.10.190	130.1.31.11
5	<input type="checkbox"/>	1.00	0005	F1P24B16	129.1.61.32	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.10.190	130.1.31.11
6	<input type="checkbox"/>	1.00	0006	F1P32B17	129.1.61.33	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.10.190	130.1.31.11
7	<input type="checkbox"/>	1.00	0007	F1P40B18	129.1.61.34	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.10.190	130.1.31.11
8	<input type="checkbox"/>	1.00	0008	F1P32B17	129.1.61.35	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.10.190	130.1.31.11
9	<input type="checkbox"/>	1.00	0009	F1PxxBxx	129.1.61.36	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.10.190	130.1.31.11
10	<input type="checkbox"/>	1.00	0010	F1P40B18	129.1.61.36	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.10.190	130.1.31.11
11	<input type="checkbox"/>	1.00	0011	F1PxxBxx	129.1.61.37	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.10.190	130.1.31.11
12	<input type="checkbox"/>	1.00	0012	F1P48B19	129.1.61.37	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.10.190	130.1.31.11

入力文字数 / 最大入力文字数 2 / 16

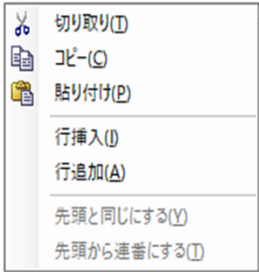
番号	機能	概要説明
1	共通タイトル	バーコード印刷時に、共通して印刷されるタイトル文字です。定義ファイルごとに1つ設定可能です。実際の印刷イメージは「3.端末設定バーコード印刷フォーマット」をご参照ください。
2	設定一覧	各端末に対する設定です。タイトルラベル部分をクリックすることで昇順/降順のソートが行えます。設定項目詳細は「2.3.3設定項目詳細」をご参照ください。

2.機能詳細

2.3. 設定編集

2.3.2 設定コンテキストメニュー

「2.3.1編集画面」の「設定一覧」で右クリックした際に表示するコンテキストメニューの内容を以下に示します。

項目	機能説明
	切り取り(T)
	コピー(C)
	貼り付け(P)
	行挿入(I)
	行追加(A)
	先頭と同じにする(Y)
	先頭から連番にする(T)

2.機能詳細

2.3. 設定編集

2.3.3 設定項目詳細 ①

端末ごとに設定する設定項目について以下に示します。

No	図番号	項目	属性	説明	入力制限
1	-	印刷	チェックボックス	メインメニューの「ファイル」→「印刷プレビュー」もしくは「印刷」で対象とする端末を選択します。	-
2	-	出力方式	プルダウン	バーコード印刷フォーマットの出力方式を機種名もしくはフォーマットバージョンで選択します。 11b, 11b/gモデルは1.0を、11a対応モデルは2.0を、IT-G500/DT-X100/DT-X200の場合には3.0以上を選択します。 ※詳細は「3.端末設定バーコード印刷フォーマット」を参照してください。	-
3	-	端末名	文字列	印刷したバーコードに出力する端末ごとの名称です。連番付与対象です。 本データは、バーコードシートと端末を一致させる情報としてバーコードと共に印刷します。 ※Casio Terminal Managementをお使いの場合、「デバイス名」として使用します。	任意64文字 ※漢字は2文字換算
4	1	使用者名	文字列	端末の使用者情報に記録する名称です。	英数+簡易記号(コード：0x20～0x7e) ※16文字
5	2	IPアドレス	文字列	無線LANのIPアドレスです。連番付与対象です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例：128.1.1.50)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合はDHCP設定扱いとなります。	数字+ピリオド ※15文字
6	3	マスク	文字列	無線LANのサブネットマスクです。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例：255.255.255.0)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は255.255.255.0設定扱いとなります。 IPアドレスの設定がDHCP設定扱いの場合、入力できません。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。)	数字+ピリオド ※15文字
7	4	ゲートウェイ	文字列	無線LANのデフォルトゲートウェイアドレスです。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例：128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。 IPアドレスの設定がDHCP設定扱いの場合、入力できません。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。)	数字+ピリオド ※15文字
8	5	DNS1	文字列	無線LANのDNS1です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例：128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。	数字+ピリオド ※15文字
9	6	DNS2	文字列	無線LANのDNS2です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例：128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。	数字+ピリオド ※15文字
10	7	WINS1	文字列	無線LANのWINS1です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例：128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。	数字+ピリオド ※15文字
11	8	WINS2	文字列	無線LANのWINS2です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例：128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。	数字+ピリオド ※15文字
12	9	SSID	文字列	端末が無線LANを用いて接続するアクセスポイントのSSIDです。	英数+簡易記号(コード：0x20～0x7e) ※16文字
13	10	アドホック	チェックボックス	SSIDで指定したアクセスポイントがアドホックかどうかを指定します。	-

2.機能詳細

2.3. 設定編集

2.3.3 設定項目詳細 ②

No	図番号	項目	属性	説明	入力制限
14	11	セキュリティ	プルダウン	<p>アクセスポイントのセキュリティ方式を以下から選択します。</p> <p>1.無効 2.WEP(128bit)+OPEN 3.WEP(128bit)+共有 4.WEP(128bit)+EAP-MD5 5.WEP(64bit)+OPEN 6.WEP(64bit)+共有 7.WEP(64bit)+EAP-MD5 8.WEP+EAP-PEAP 9.WEP+EAP-TLS 10.WPA+PSK 11.WPA+EAP-PEAP 12.WPA+EAP-TLS 13.WPA2+PSK 14.WPA2+EAP-PEAP 15.WPA2+EAP-TLS 16.[SUP]Open+None 17.[SUP]Open+WEP 18.[SUP]Shared+WEP 19.[SUP]802.1X+WEP-FAST-MSCHAPv2 20.[SUP]802.1X+WEP-FAST-GTC 21.[SUP]802.1X+WEP-LEAP 22.[SUP]802.1X+WEP-PEAPv0-MSCHAPv2 23.[SUP]802.1X+WEP-PEAPv1-MSCHAPv2 24.[SUP]802.1X+WEP-PEAPv1-GTC 25.[SUP]802.1X+WEP-TLS 26.[SUP]802.1X+WEP-TTLS-MD5 27.[SUP]802.1X+WEP-TTLS-MSCHAPv2 28.[SUP]802.1X+WEP-TTLS-GTC 29.[SUP]WPA-Personal (PSK)+AES 30.[SUP]WPA-Personal (PSK)+TKIP 31.[SUP]WPA-Personal (PSK)+TKIP+AES 32.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-FAST-MSCHAPv2 33.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-FAST-GTC 34.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-LEAP 35.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-PEAPv0-MSCHAPv2 36.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-PEAPv1-MSCHAPv2 37.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-PEAPv1-GTC 38.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-TLS 39.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-TTLS-MD5 40.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-TTLS-MSCHAPv2 41.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-TTLS-GTC 42.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-FAST-MSCHAPv2 43.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-FAST-GTC 44.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-LEAP 45.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-PEAPv0-MSCHAPv2 46.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-PEAPv1-MSCHAPv2 47.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-PEAPv1-GTC 48.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-TLS 49.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-TTLS-MD5 50.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-TTLS-MSCHAPv2 51.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-TTLS-GTC 52.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-FAST-MSCHAPv2 53.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-FAST-GTC 54.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-LEAP 55.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-PEAPv0-MSCHAPv2 56.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-PEAPv1-MSCHAPv2 57.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-PEAPv1-GTC 58.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-TLS 59.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-TTLS-MD5 60.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-TTLS-MSCHAPv2 61.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-TTLS-GTC 62.[SUP]WPA2-Personal (PSK)+AES 63.[SUP]WPA2-Personal (PSK)+TKIP 64.[SUP]WPA2-Personal (PSK)+TKIP+AES 65.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-FAST-MSCHAPv2 66.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-FAST-GTC 67.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-LEAP 68.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-PEAPv0-MSCHAPv2 69.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-PEAPv1-MSCHAPv2 70.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-PEAPv1-GTC 71.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-TLS 72.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-TTLS-MD5 73.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-TTLS-MSCHAPv2 74.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-TTLS-GTC 75.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-FAST-MSCHAPv2 76.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-FAST-GTC 77.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-LEAP 78.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-PEAPv0-MSCHAPv2 79.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-PEAPv1-MSCHAPv2 80.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-PEAPv1-GTC 81.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-TLS 82.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-TTLS-MD5 83.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-TTLS-MSCHAPv2 84.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-TTLS-GTC 85.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-FAST-MSCHAPv2 86.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-FAST-GTC 87.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-LEAP 88.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-PEAPv0-MSCHAPv2 89.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-PEAPv1-MSCHAPv2 90.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-PEAPv1-GTC 91.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-TLS 92.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-TTLS-MD5 93.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-TTLS-MSCHAPv2 94.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-TTLS-GTC</p> <p>WPA2未搭載機種では、13,14,15を設定しないでください。セキュリティを変更した場合は、KEY等を必ず再設定してください。 [SUP]と記載されている項目は出力方式4.0以上で設定できます。</p>	-

2.機能詳細

2.3. 設定編集

2.3.3 設定項目詳細 ③

No	図番号	項目	属性	説明	入力制限
15	12	KEY	文字列	SSIDに対応したKEYです。セキュリティ方式 2,3,4,5,6,7,10,13 の場合に入力可能となります。 セキュリティ方式を変更した場合は、既入力内容は消去されます。	セキュリティ方式毎に文字数が変化 [2,3,4] HEX大文字 最大26文字 [5,6,7] HEX大文字 最大10文字 [10,13] 英数字 最大64文字 ※HEX文字：16進数表現で使用するA～F+0～9までの文字
16	13	Index	プルダウン	キーインデックスです。セキュリティ方式2,3,4,5,6,7の場合にの場合に入力可能となります。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。)	-
17	14	EAPユーザ名	文字列	EAP認証をする際に使用するユーザ名です。セキュリティ方式4,7,8,9,11,12,14,15の場合に入力可能となります。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。) ※WindowsMobileモデルでは設定内容は反映されません。	英数+簡易記号(コード：0x20～0x7e) ※16文字
18	15	EAPパスワード	文字列	EAPユーザに対応したパスワードです。セキュリティ方式4,7,8,11,14の場合に入力可能となります。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。) ※WindowsMobileモデルでは設定内容は反映されません。	英数+簡易記号(コード：0x20～0x7e) ※8文字
19	16	EAP証明書	文字列	EAPユーザに対応した証明書名です。セキュリティ方式9,12,15の場合に入力可能となります。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。)	英数+簡易記号(コード：0x20～0x7e) ※16文字
20	17	EAPドメイン	文字列	EAP認証をする際に使用するドメインです。セキュリティ方式4,7,8,9,11,12,14,15の場合に入力可能となります。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。) ※WindowsMobileモデルでは設定内容は反映されません。	英数+簡易記号(コード：0x20～0x7e) ※16文字
21	18	EAP認証確認	チェックボックス	EAP認証有効フラグです。セキュリティ方式4,7,8,9,11,12,14,15の場合に入力可能となります。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。) ※WindowsMobileモデルでは設定内容は反映されません。	-
22	-	EAP匿名ID	文字列	EAP匿名IDです。セキュリティ方式19,20,22,23,24,25,26,27,28,32,33,35,36,37,38,39,40,41,42,43,45,46,47,48,49,50,51,52,53,55,56,57,58,59,60,61,65,66,68,69,70,71,72,73,74,75,76,78,79,80,81,82,83,84,85,86,88,89,90,91,92,93,94 の場合に入力可能となります。	-
23	-	EAPトンネルPAC	文字列	EAPトンネルPACです。セキュリティ方式19,20,32,33,42,43,52,53,65,66,75,76,85,86の場合に入力可能となります。	-
24	-	EAPマシンPAC	文字列	EAPマシンPACです。セキュリティ方式19,20,32,33,42,43,52,53,65,66,75,76,85,86の場合に入力可能となります。	-
25	-	EAPプロビジョニング	プルダウン	EAPプロビジョニングです。セキュリティ方式19,20,32,33,42,43,52,53,65,66,75,76,85,86の場合に入力可能となります。	-
26	-	MMU接続方式	プルダウン	モジュール更新ツール接続方式を以下から選択します。 1.使用しない 2.ファイル共有 3.FTP 4.HTTP	-
27	-	MMUURL	文字列	モジュール更新サーバURLです。MMU接続形式でFTPを選択した場合、ftp://[MMU_URL] にアクセスします。 MMU接続方式が2,3の場合に入力可。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。)	英数+簡易記号(コード：0x20～0x7e) ※192文字
28	-	MMUアカウント	文字列	モジュール更新サーバ接続アカウントです。空白の場合、anonymousで接続します。 MMU接続方式が2,3の場合に入力可能となります。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。)	英数16文字
29	-	MMUパスワード	文字列	MMUアカウントに対応したパスワードです。MMU接続方式が2,3の場合に入力可能となります。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。)	英数8文字

2.機能詳細

2.3. 設定編集

2.3.3 設定項目詳細 ④

No	図番号	項目	属性	説明	入力制限
30	19	電源	チェックボックス	無線LAN電源のON/OFFです。	-
31	20	省電力	チェックボックス	無線LANモジュールの省電力設定ON/OFFです。	-
32	21	規格	プルダウン	無線規格を以下から選択します。 1.11b 2.11b/g 3.11a 4.11abg 5.11bgn 6.11a/n 7.11abgn ※3.と4.は「出力方式」で2.0を選択、もしくはDT-5300(11aモデル)/IT-800(11aモデル)を選択した場合のみ設定可能です。 ※5.と6.と7.は「出力方式」で3.0/4.0を選択、もしくはIT-G500/DT-X100/DT-X200を選択した場合のみ設定可能です。	-
33	22	RSSI	文字列	ローミングを開始するRSSIレベルです。デフォルト値は"78"です。 範囲外の数値を入力した場合は確定時にデフォルト値へ置き換わります。	1～200までの整数
34	23	スキャンチャンネル(11b/g)	文字列	1～14までのスキャンチャンネルで使用するチャンネル番号をカンマ区切りで列挙します。	-
35	24	スキャンチャンネル(11a)	文字列	36～140までのスキャンチャンネルで使用するチャンネル番号をカンマ区切りで列挙します。 ※「出力方式」で1.0を選択した場合は設定できません。	-
36	25	最大スキャン時間	文字列	チャンネルあたりの最大スキャン時間(ms)です。デフォルト値は"105"です。 範囲外の数値を入力した場合は確定時にデフォルト値へ置き換わります。	20～1000までの整数
37	26	AvailableTime	文字列	一度ローミングに成功した後、次にローミング動作を開始するまでの時間(秒)です。デフォルト値は"15"秒です。 範囲外の数値を入力した場合は確定時にデフォルト値へ置き換わります。	1～120までの整数
38	27	RssiSpan	文字列	ローミング開始判断ローミング候補アクセスポイントと現接続中アクセスポイントの最低電界強度差(dB)です。 デフォルト値は"1"です。範囲外の数値を入力した場合は確定時にデフォルト値へ置き換わります。	1～10までの整数
39	28	優先周波数帯	コンボボックス	優先周波数帯です。デフォルト値は"Not Specified"です。	-
40	29	優先周波数帯レベル	文字列	優先周波数接続する時のローミング基準値に加算する値。デフォルト値は"0"です。 範囲外の数値を入力した場合は確定時にデフォルト値へ置き換わります。	0～78までの整数
41	-	LAN IPアドレス	文字列	有線LANのIPアドレスです。連番付与対象です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例：128.1.1.50)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合はDHCP設定扱いとなります。	数字+ピリオド 15文字
42	-	LAN マスク	文字列	有線LANのサブネットマスクです。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例：255.255.255.0)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は255.255.255.0の設定扱いとなります。 IPアドレスの設定がDHCP設定扱いの場合、入力できません。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。)	数字+ピリオド 15文字
43	-	LAN ゲートウェイ	文字列	有線LANのデフォルトゲートウェイアドレスです。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例：128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。 IPアドレスの設定がDHCP設定扱いの場合、入力できません。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。)	数字+ピリオド 15文字
44	-	LAN DNS1	文字列	有線LANのDNS1です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例：128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。	数字+ピリオド 15文字
45	-	LAN DNS2	文字列	有線LANのDNS2です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例：128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。	数字+ピリオド 15文字
46	-	LAN WINS1	文字列	有線LANのWINS1です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例：128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。	数字+ピリオド 15文字
47	-	LAN WINS2	文字列	有線LANのWINS2です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例：128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。	数字+ピリオド 15文字

2.機能詳細

2.3. 設定編集

2.3.3 設定項目詳細 ⑤

No	図番号	項目	属性	説明	入力制限
48	-	エントリー名	文字列	WANを識別するための、任意のエントリー名を指定します。	英数16文字
49	-	APN	文字列	WAN接続するアクセスポイント名(APN)を指定します。	英数164文字
50	-	ユーザ名	文字列	WAN接続時のユーザ名を指定します。	英数64文字
51	-	パスワード	文字列	WAN接続時のパスワードを指定します。	英数128文字
52	-	認証方式	プルダウン	WAN接続時の認証方式を以下から選択します。 1.なし 2.PAP 3.CHAP	-
53	-	CTMサーバーIP	文字列	Casio Terminal Management の管理サーバーのIPアドレスです。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例 : 128.1.1.50)。	数字+ピリオド 15文字
54	-	CTMサーバーポート	文字列	Casio Terminal Management の管理サーバーのポート番号です。	数字5文字
No.12 SSID～No.25 EAPプロビジョニングの無線LAN接続設定グループは、3つまで設定することができます。この一覧では設定内容が被るので割愛します。					

2.3. 設定編集

本ツールの主な設定項目と、端末側の設定ツール「所有者情報」「無線LAN設定」の設定画面との対応表を以下に示します。番号は「2.3.3 端末設定項目詳細」で示した図番号です。



3. 端末設定バーコード 印刷フォーマット

3.端末設定バーコード 印刷フォーマット

3. 印刷フォーマットについて

[ファイル]→[印刷]または[印刷プレビュー]を選択した場合、以下のフォーマットで印刷を行います。

- 用紙：
A4縦
- バーコード規格：
Code128、QRコード※
- 印刷レイアウト：
印刷フォーマットについては、次ページをご参照ください。

※QRコードをご使用される場合、DT-X100/DT-X200/IT-G500 ServicePack1.08以上を満たした端末が必要です。

3.端末設定バーコード 印刷フォーマット

3.1. フォーマット1.0/2.0について

①	無線LAN設定パラメータ	2018/6/4 17:12																																							
②	テスト印刷																																								
③	端末番号:001																																								
④	バーコード番号:11	バーコード番号:12																																							
	バーコード番号:12	バーコード番号:13																																							
	バーコード番号:13	バーコード番号:14																																							
	バーコード番号:14	バーコード番号:15																																							
	バーコード番号:15	バーコード番号:16																																							
	バーコード番号:16	バーコード番号:17																																							
	バーコード番号:17	バーコード番号:18																																							
	バーコード番号:18	バーコード番号:19																																							
	バーコード番号:19	バーコード番号:20																																							
	バーコード番号:20	バーコード番号:21																																							
	バーコード番号:21	バーコード番号:22																																							
⑤	<table border="1"> <tr> <td>SSID:OASIO AP</td> <td>SSID:OASIO AP</td> <td>SSID:OASIO AP</td> </tr> <tr> <td>パスワード:OASIO</td> <td>パスワード:OASIO</td> <td>パスワード:OASIO</td> </tr> <tr> <td>IPアドレス:192.168.1.1</td> <td>IPアドレス:192.168.1.1</td> <td>IPアドレス:192.168.1.1</td> </tr> <tr> <td>サブネットマスク:255.255.255.0</td> <td>サブネットマスク:255.255.255.0</td> <td>サブネットマスク:255.255.255.0</td> </tr> <tr> <td>デフォルトゲートウェイ:192.168.1.1</td> <td>デフォルトゲートウェイ:192.168.1.1</td> <td>デフォルトゲートウェイ:192.168.1.1</td> </tr> <tr> <td>DNS1:192.168.1.1</td> <td>DNS1:192.168.1.1</td> <td>DNS1:192.168.1.1</td> </tr> <tr> <td>DNS2:192.168.1.1</td> <td>DNS2:192.168.1.1</td> <td>DNS2:192.168.1.1</td> </tr> <tr> <td>WINS1:192.168.1.1</td> <td>WINS1:192.168.1.1</td> <td>WINS1:192.168.1.1</td> </tr> <tr> <td>WINS2:192.168.1.1</td> <td>WINS2:192.168.1.1</td> <td>WINS2:192.168.1.1</td> </tr> <tr> <td>MMU接続方式:ファイル共有</td> <td>MMU接続方式:ファイル共有</td> <td>MMU接続方式:ファイル共有</td> </tr> <tr> <td>MMUURL:casio.jp/mmu</td> <td>MMUURL:casio.jp/mmu</td> <td>MMUURL:casio.jp/mmu</td> </tr> <tr> <td>MMUパスワード:administrator</td> <td>MMUパスワード:administrator</td> <td>MMUパスワード:administrator</td> </tr> <tr> <td>MMUパスワード:*****</td> <td>MMUパスワード:*****</td> <td>MMUパスワード:*****</td> </tr> </table>	SSID:OASIO AP	SSID:OASIO AP	SSID:OASIO AP	パスワード:OASIO	パスワード:OASIO	パスワード:OASIO	IPアドレス:192.168.1.1	IPアドレス:192.168.1.1	IPアドレス:192.168.1.1	サブネットマスク:255.255.255.0	サブネットマスク:255.255.255.0	サブネットマスク:255.255.255.0	デフォルトゲートウェイ:192.168.1.1	デフォルトゲートウェイ:192.168.1.1	デフォルトゲートウェイ:192.168.1.1	DNS1:192.168.1.1	DNS1:192.168.1.1	DNS1:192.168.1.1	DNS2:192.168.1.1	DNS2:192.168.1.1	DNS2:192.168.1.1	WINS1:192.168.1.1	WINS1:192.168.1.1	WINS1:192.168.1.1	WINS2:192.168.1.1	WINS2:192.168.1.1	WINS2:192.168.1.1	MMU接続方式:ファイル共有	MMU接続方式:ファイル共有	MMU接続方式:ファイル共有	MMUURL:casio.jp/mmu	MMUURL:casio.jp/mmu	MMUURL:casio.jp/mmu	MMUパスワード:administrator	MMUパスワード:administrator	MMUパスワード:administrator	MMUパスワード:*****	MMUパスワード:*****	MMUパスワード:*****	
SSID:OASIO AP	SSID:OASIO AP	SSID:OASIO AP																																							
パスワード:OASIO	パスワード:OASIO	パスワード:OASIO																																							
IPアドレス:192.168.1.1	IPアドレス:192.168.1.1	IPアドレス:192.168.1.1																																							
サブネットマスク:255.255.255.0	サブネットマスク:255.255.255.0	サブネットマスク:255.255.255.0																																							
デフォルトゲートウェイ:192.168.1.1	デフォルトゲートウェイ:192.168.1.1	デフォルトゲートウェイ:192.168.1.1																																							
DNS1:192.168.1.1	DNS1:192.168.1.1	DNS1:192.168.1.1																																							
DNS2:192.168.1.1	DNS2:192.168.1.1	DNS2:192.168.1.1																																							
WINS1:192.168.1.1	WINS1:192.168.1.1	WINS1:192.168.1.1																																							
WINS2:192.168.1.1	WINS2:192.168.1.1	WINS2:192.168.1.1																																							
MMU接続方式:ファイル共有	MMU接続方式:ファイル共有	MMU接続方式:ファイル共有																																							
MMUURL:casio.jp/mmu	MMUURL:casio.jp/mmu	MMUURL:casio.jp/mmu																																							
MMUパスワード:administrator	MMUパスワード:administrator	MMUパスワード:administrator																																							
MMUパスワード:*****	MMUパスワード:*****	MMUパスワード:*****																																							

対応端末は、
DT-5300/DT-X7/DT-X8/IT-300/IT-9000です。

フォーマットバージョンの差異は以下の通りです。

- ・ **フォーマット1.0 : IEEE 802.11b/g対応モデル**
→機種モデルで出力方式を設定する場合、
DT-5300/DT-X7/DT-X8/IT-300/IT-9000
が設定可能です。
- ・ **フォーマット2.0 : IEEE 802.11a対応モデル**
→機種モデルで出力方式を設定する場合、
DT-5300(11aモデル)が設定可能です。

番号	機能	概要説明
1	日付	印刷開始日時 YYYY/MM/DDフォーマットで表示します。
2	共通タイトル	「2.3.1 編集画面」の共通タイトル文字です。
3	端末名	「2.3.3 設定項目詳細」の端末番号です。
4	端末設定バーコード	端末側のバーコード設定ツールで読み込むバーコードです。
5	共通タイトル	本シートで設定する内容です。EAPパスワード/EAP証明書/MMUパスワード、またSSIDのキー(KEY/KEY2/KEY3)は、その設定が有効な場合、内容に関わらずアスタリスクで隠蔽します。

3.2. フォーマット3.0について

<p>端末設定パラメータ</p> 	<p>端末名: 1234567890123456サンプル</p>	<p>2017/8/9 10:55 Page:1 / 1</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------	--------------------------------------

<pre> ファイルフォーマットバージョン: DT=X100-DT=X200-IT=C500 使用言語:A B C D E F G H I J K L M N O P IPアドレス:DHCP サブネットマスク: デフォルトゲートウェイ: DNS1:255.255.255.255 DNS2:255.255.255.255 WINS1:255.255.255.255 WINS2:255.255.255.255 MMU接続方式:ファイル共有 MMUURL:http://255.255.255.255/Media/ path: MMUパスワード:1234567890ABCD&F MMUユーザーID:***** 電源:ON 省電力:ON </pre>	<pre> 接続:11b/g SSID:A123456789012345 P:あり設定:有効 セキュリティ:WEP(128bit)+EAP-MD5 KEY:***** キーインデックス:1 EAP-AUTH番号:1234567890123456 EAPパスワード:***** EAP証明書: EAP証明書: EAP証明書URL:A123456789012345 LAN IP アドレス:255.255.255. 255 LAN SubnetMask:255.255.255. 255 LAN DefaultGateway:255.255. 255.255 </pre>	<pre> Lan DNS1:255.255.255.255 Lan DNS2:255.255.255.255 Lan WINS1:255.255.255.255 Lan WINS2:255.255.255.255 WAN EntryName:A123456789012 245 APIH: A123456789012345@domain.jp APIUserName: A123456789012345 APIPassword:***** HTTPSポート:80 最大セッション数:100ms AvailableTime:10s RSSIScanInterval: スキャン間隔:8~11db/g: 12.345.678.9.10.11.12.1 6.74 </pre>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

番号	機能	概要説明
1	日付	印刷開始日時 YYYY/MM/DDフォーマットで表示します。
2	共通タイトル	「2.3.1 編集画面」の共通タイトル文字です。
3	端末名	「2.3.3 設定項目詳細」の端末番号です。
4	端末設定バーコード	端末側のバーコード設定ツールで読み込むバーコードです。
5	端末設定内容	本シートで設定する内容です。EAPパスワード／EAP証明書／MMUパスワード、またSSIDのキー(KEY/KEY2/KEY3)およびAPNのパスワードは、その設定が有効な場合、内容に関わらずアスタリスクで隠蔽します。

3.端末設定バーコード 印刷フォーマット

3.3. フォーマット4.0について

② 無線LAN設定ツール ③ 端末名: Sample ① 2018/4/25 12:27 Page:1/1

no.001 [Barcode]

no.002 [Barcode]

no.003 [Barcode]

no.004 [Barcode]

no.005 [Barcode]

no.006 [Barcode]

no.007 [Barcode]

no.008 [Barcode]

no.009 [Barcode]

no.010 [Barcode]

no.011 [Barcode]

no.012 [Barcode]

no.013 [Barcode]

no.014 [Barcode]

④

使用名: SAMPLE User
IPアドレス: 10.0.0.10
サブネットマスク: 255.0.0.0
デフォルトゲートウェイ: 10.0.0.1
DNS1: 7.7.7
DNS2: 6.6.6
WINS1: 10.0.0.7
WINS2: 10.0.0.7
MMU接続方式: 使用しない
MMUURL:
MMUパスワード:
MMUパスワード:
電源: ON
充電力: ON
SSID: SampleSSID
7/8 設定: 無効
セキュリティ: 無効
KEY: none
キーインデックス:

EAPユーザ名: EAPUser
EAPパスワード:
EAP証明書:
EAP証明書:
Lan IP Address: 192.168.0.1
Lan SubnetMask: 255.255.168.0
Lan DefaultGateway: 192.168.0.20
Lan DNS: 68.0.21
Lan DNS2: 192.168.0.22
Lan WINS1: 192.168.0.23
Lan WINS2: 192.168.0.24
RSSI: 11b/g
最大スキャン時間: 105ms
AvailableTime: 15s
RawSpent: 1GB
スキャンチャンネル: 11b/g:
1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.

12.13.14
スキャンチャンネル: 11b:
36.40.44.48.52.56.60.64,
100.104.108.112.116.120,
124.128.132.136.140

無線LAN設定ツール 端末名: Sample 2018/4/25 12:24 Page:1/1

No.01

[Barcode]

使用名: SAMPLE User
IPアドレス: 10.0.0.10
サブネットマスク: 255.0.0.0
デフォルトゲートウェイ: 10.0.0.1
DNS1: 7.7.7
DNS2: 6.6.6
WINS1: 10.0.0.7
WINS2: 10.0.0.7
MMU接続方式: 使用しない
MMUURL:
MMUパスワード:
MMUパスワード:
電源: ON
充電力: ON
SSID: SampleSSID
7/8 設定: 無効
セキュリティ: 無効
KEY: none
キーインデックス:

EAPユーザ名: EAPUser
EAPパスワード:
EAP証明書:
EAP証明書:
Lan IP Address: 192.168.0.1
Lan SubnetMask: 255.255.168.0
Lan DefaultGateway: 192.168.0.20
Lan DNS: 68.0.21
Lan DNS2: 192.168.0.22
Lan WINS1: 192.168.0.23
Lan WINS2: 192.168.0.24
RSSI: 11b/g
最大スキャン時間: 105ms
AvailableTime: 15s
RawSpent: 1GB
スキャンチャンネル: 11b/g:
1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.

12.13.14
スキャンチャンネル: 11b:
36.40.44.48.52.56.60.64,
100.104.108.112.116.120,
124.128.132.136.140

対応する端末モデルは、DT-X100/DT-X200/IT-G500です。

本フォーマットは、拡張サブリカント設定を利用する場合に必要となります。

機種モデルで出力方式を選択した場合、フォーマット4.0が自動適用されます。

番号	機能	概要説明
1	日付	印刷開始日時 YYYY/MM/DDフォーマットで表示します。
2	共通タイトル	「2.3.1 編集画面」の共通タイトル文字です。
3	端末名	「2.3.3 設定項目詳細」の端末番号です。
4	端末設定バーコード	端末側のバーコード設定ツールで読み込むバーコードです。
5	端末設定内容	本シートで設定する内容です。EAPパスワード/EAP証明書/MMUパスワード、またSSIDのキー(KEY/KEY2/KEY3)およびAPNのパスワードは、その設定が有効な場合、内容に関わらずアスタリスクで隠蔽します。

4.ご利用上の注意事項

4.ご利用上の注意事項

本ツールをご利用いただくにあたり注意事項をまとめましたのでご確認ください。

- 出力形式の設定について
機種名もしくはフォーマット1.0～4.0のいずれか設定できますが、機種名で選択した場合、そのモデルでの最新フォーマットバージョンが適用されます。
- Ver2.10以上で拡張サブリカント設定を利用される場合、端末にサービスパック1.10以上の適用が必要です。
- Ver.2.10で標準サブリカント設定を使用される場合
出力形式で“4.0”もしくは“DT-X100/DT-X2000/IT-G500”のいずれかを設定されると、セキュリティ設定のうち、「WPA2+EAP-TLS」が選択できません。

もし、「WPA2+EAP-TLS」を設定されたい場合は、出力形式で“3.0”を設定ください。

- 本ツールで設定もしくは設定変更後、バーコード印刷される前に設定保存と印刷プレビュー機能にて確認されることを推奨します。

もし、設定もしくは設定変更した内容が印刷プレビューに反映されていない場合、一度本ツールを再起動し、設定保存ファイル(.xml)を読み込みなおして再確認ください。

最終ページ